

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

イマジン ローターリー



クラブの未来を描き  
ロータリーを楽しもう

RI会長 ジェニファーE・ジョーンズ 2022～2023

富津中央RC会長 須藤 隆

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

## No.2692 第13回例会 2022. 10. 20 晴 月見俳句夜間例会

点 鐘 : 須藤 隆 会長

進 行 : 飯島由美 副SAA

### 会長挨拶

須藤 隆 会長



皆さん今晚は、今日は3年ぶりの夜間月見例会です。会員一人一人が3句の俳句を提出して、それぞれの句を会員同士が選び、選句された人を讃える、和気あいあいとした句会が10年以上も続いております。

今月、卒寿を迎えられた三枝会員のご指導の下、長年この句会が続けてこられたことに感謝を申し上げます。本日もよろしくご指導をお願いします。

さて、先日久しぶりに家内と映画を見に行きました。映画の題名はPLAN75で、私たちと同世代の倍賞千恵子が主演を演じていました。超高齢化問題の解決策として、75才以上が自らの生死を選択できる架空の制度の下で、人は何を選択して、どう

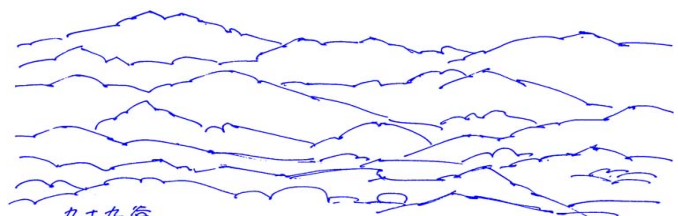
生きていくのかを問いかける作品でした。

皆さんもご記憶と思いますが、2016年、相模原市の障害者施設で、戦後最大の殺人事件として日本社会に衝撃を与えた、19人死亡、26人が負傷する殺傷事件が起こりました。人の命を生産性で語り、社会で役に立たない人間は生きていく価値はないとする考え方が、その犯人特有のものでなく、人々の不寛容がこのままつづけば、PLAN75のような制度が生まれるのではないかとの危機感から生まれた映画とのことです。

実際に映画を観て、映画の中で現れる場面は容易に想像できるものの、私自身の周囲の現生活とは乖離があり、どうとらえていいのかいろいろ考えさせられる映画でした。

映画を見た後、木更津市の上総アカデミアの近くの山間に位置する緑豊かな農園、クルックフィールドを訪れました。東京ドーム5個分の広大な敷地に循環型のオーガニックファームや動物たちの酪農場、レストランやカフェ、ショップや宿泊施設があります。豊かな自然環境の中に想像力を掻き立てるアート、自由に遊べるプレイパークもあり、大人は勿論、子供も楽しめます。まだ工事中のところもあり、今のところ入場は無料のようです。行ったことのない方は一度行ってみたいかがでしょうか。

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3  
いち川旅館  
Ichikawa ryokan  
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,  
293-0043  
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178  
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



九十九谷

## 幹事報告

相川恵津子 幹事

皆さんこんにちは。今日は月見例会です。3句用意していただきましたでしょうか？コロナ禍で久しぶりの夜間例会になりました。皆さんの名句を楽しみにしております。

1. 地区大会の御礼回覧。
2. 世界ポリオデーのお知らせ回覧。
3. ハイライト米山回覧。
4. 2022-23年度9月期 MCR レポート回覧。

## 出席報告

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	14/32	14	11		56.00%
前回	21/32	21	13		75.00%
前々回	27/32	25	11	2	59.26%

## 富津中央月見句会

選者 三枝一雄 会員



参加者15名、「月」を始め、秋の季題一切で、晩秋の一夜を楽しみました。会員の名句続出で、結果は次の通です。

選者 三枝かずを 選

外来の 野草従え すすき立つ 若鍋武良  
鋸の 山で聞こえる 虫の声 神子勝美  
名月を 仰ぎて祈る 世の平和 須藤 隆  
○新米を 食べて思わず 笑顔かな 若鍋武良  
西日受け 色を深める 庭の柿 山下 厚  
赤とんぼ どの草花に とまろうか 小野恒靖  
秋の世や 家族で語る 鎌倉史 〃

○秋の世の 句会楽しむ ロータリー 神子勝美  
新米を 食べてにっこり お代わりと 相川恵津子  
山の端に 有や無しやの 浅の月 榎本守男  
秋雨や 我が子迎えに 傘を持ち 飯島恵美  
旅の宿 灯りを消して 月仰ぐ 榎本守男  
○溪谷の 水面に映える 山紅葉 高橋裕之  
野の草や 月の雫に 光りをり 藤江みどり  
○抱く犬の 瞳に映る 秋の雲 岡田良弘  
窓越しの 月を賞でつつ 杯重ね 須藤 隆  
○帰り道 秋風を背に 感じけり 藤江みどり  
月仰ぎ 平穏祈る 老夫婦 須藤 隆  
振り返る 猫に飛び立つ 赤とんぼ 岡田良弘  
彼岸花 何故に悲しく 咲くものか 小野恒靖  
みぎひだり 風のなすまま 花すすき 榎本守男  
雲海に 硫黄の香り 紅葉狩り 高橋裕之  
コスモスや 踊る姿も 風まかせ 石渡 鋼  
軒下に 赤く暖簾の 吊るし柿 渡辺哲夫  
秋風の 通う懐古の 街並みに 星野 誠

選者吟

夕富士の 消ゆる窓辺に 月を待つ かずを  
一本の 高さ芒や 供華 かずを

<特選句評○印>

新米の句 : 美味しいと言わずにさも美味しそうに  
食べる姿が笑顔に出ています。

秋の世の句 : あるがままの姿を素直に詠んだ俳句  
は即興と挨拶が大事です。

溪谷の句 : 旅の写生句。水に映る紅葉が一際美  
しい。作者の感性。

抱く犬の句 : 愛犬を抱いて見つめ合う主。瞳に映る  
秋の雲がいい。詩情ゆたかな一駒です。

帰り道の句 : 男の背に吹く秋風は哀歓を伴うけれど、  
女性では？何の帰りか謎めくところが  
面白い。

全体に、皆さんお上手です。新人の活躍もあって  
華やぐ句会となりました。来年もお楽しみに。